

(証券コード 7702)

株式会社 ジェイ・エム・エス

# 2023年3月期 連結決算の概要

---

2023年5月12日

## 連結：増収減益

売上高 63,740百万円(+5,571百万円)

営業利益 724百万円(△255百万円)

売上： 新型コロナの影響から回復がみられ、国内外ともに増収、海外は血液・細胞及び透析領域が大幅伸長、円安による円貨換算額の増加で売上高を押し上げ

利益： 増収効果はあるものの、原材料費や電力費の高騰影響に加え、需要回復に備えた労務費や販売活動の再開に伴う販売費の増加により減益

## システム別売上高

血液・細胞： 成分献血用回路や血液バッグの海外需要が回復、増収を牽引

透析： 海外主力のAVF針（血液透析用針）に加え、血液透析装置の販売が増加

## 地域別売上高

北米： 成分献血用回路やAVF針が増加、円貨換算額の増加で売上高を押し上げ

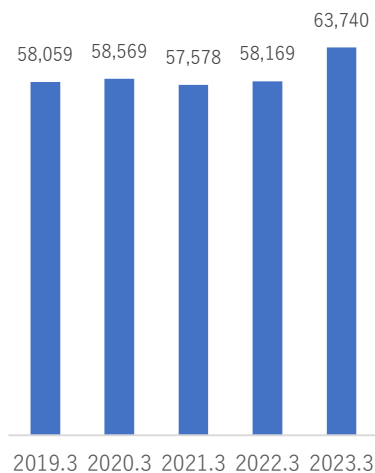
アジア： 血液バッグの増加に加え、中国でAVF針や血液透析装置、急性血液浄化事業に係る販売が増加

年間配当は1株当たり17円を予定（中間配当8.5円、期末配当8.5円）

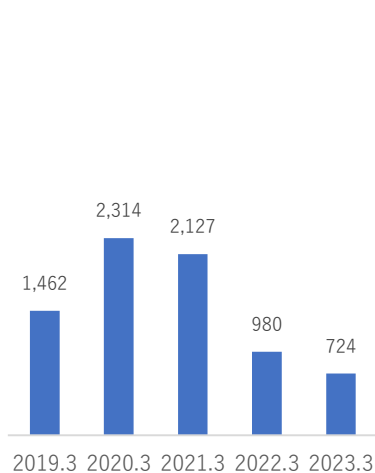
(単位：百万円)

	2022年 3月期	2023年 3月期	増減額	増減率
売上高	58,169	63,740	5,571	9.6%
営業利益	980	724	△255	△26.1%
経常利益	1,126	586	△539	△47.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	826	281	△545	△66.0%

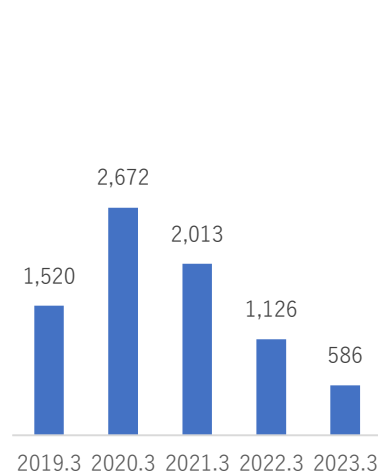
売上高



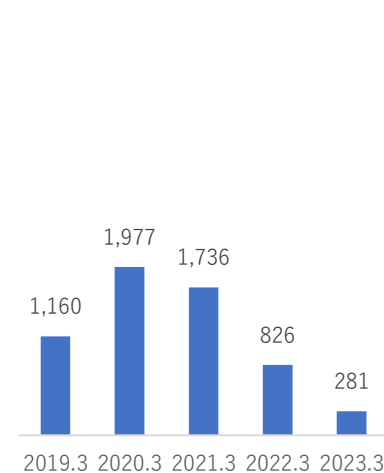
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する  
当期純利益



# セグメント業績（拠点別、経常利益ベース）

日本： 薬剤調製・投与クローズドシステムが堅調に推移、急性血液浄化事業に係る販売が中国向けを含めて増加し増収、利益は原材料費や電力費などの高騰影響に加え、円安による外貨建て仕入取引の円貨換算額や販売活動費の増加により減益

シンガポール： 北米向け成分献血用回路やアジア向け血液バッグ、関係会社向けA V F針の増加で増収、原材料費の高騰や需要回復に備えた労務費の増加などの影響を増収効果で吸収し利益を回復

（単位：百万円）

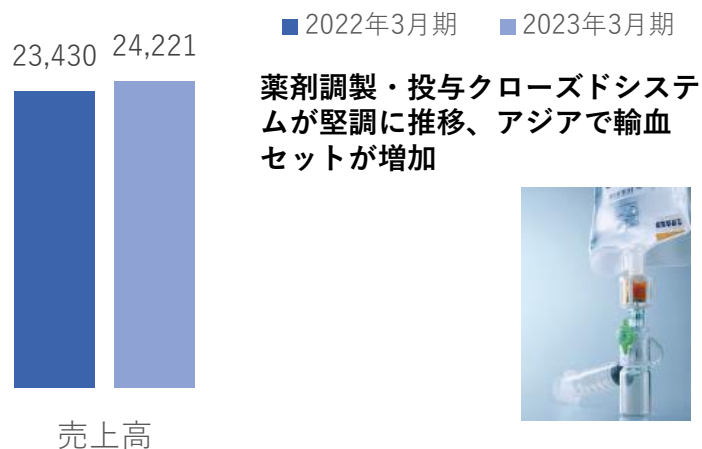
		2022年 3月期	2023年 3月期	増減額	増減率
日本	売上高	42,696	44,573	1,877	4.4%
	利益	1,083	378	△705	△65.1%
シンガポール※	売上高	17,752	22,558	4,806	27.1%
	利益	△75	159	234	—
中国	売上高	3,386	4,088	701	20.7%
	利益	35	79	43	122.6%
フィリピン	売上高	3,157	3,716	558	17.7%
	利益	251	85	△166	△66.1%
ドイツ	売上高	3,432	3,749	317	9.2%
	利益	131	178	47	35.9%
その他※	売上高	4,059	5,376	1,317	32.5%
	利益	△6	141	147	—

※シンガポールは、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでいます。

※その他は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでいます。

(単位：百万円)

## 輸液・栄養領域



## 透析領域



## 外科治療領域



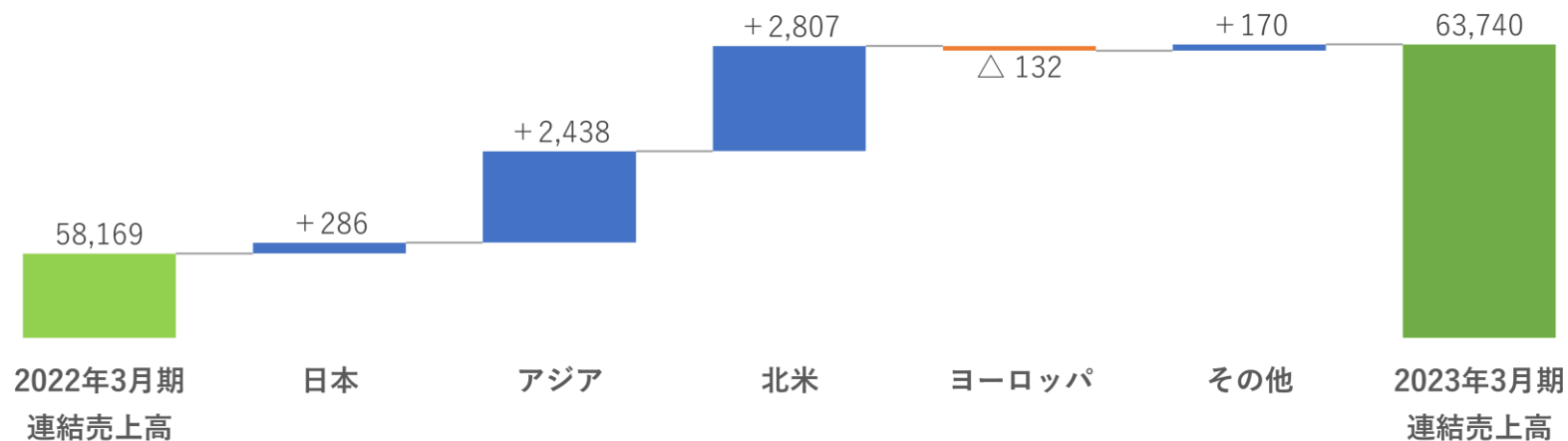
## 血液・細胞領域



需要回復に伴い日本は第3四半期以降の伸長で増収に転じる。アジアは血液バッグやA V F 針、急性血液浄化装置が増加、北米はA V F 針に加え成分献血用回路が増収を牽引

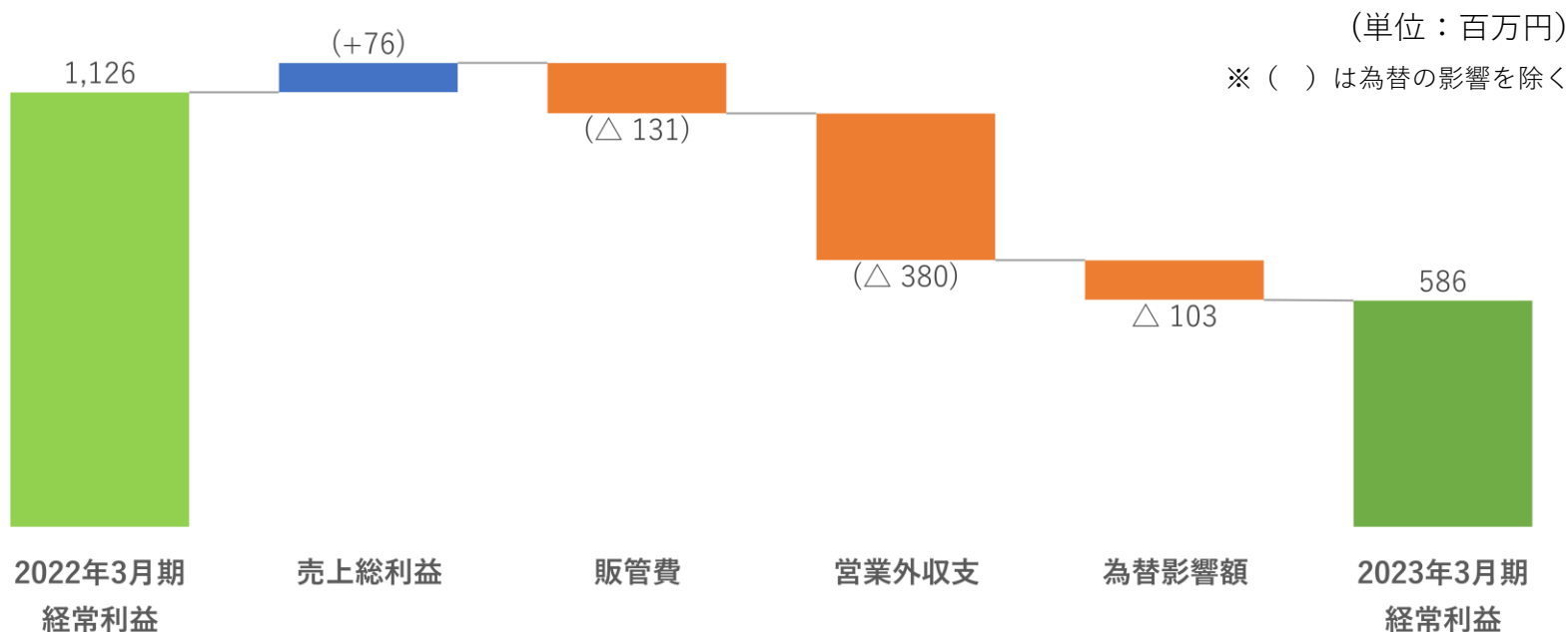
(単位：百万円)

	2022年 3月期	2023年 3月期	増減額	増減率	売上高 構成比
日本	38,240	38,526	286	0.7%	60.4%
アジア	8,430	10,869	2,438	28.9%	17.1%
北米	4,486	7,293	2,807	62.6%	11.4%
ヨーロッパ	5,827	5,695	△132	△2.3%	8.9%
その他	1,184	1,355	170	14.4%	2.1%



# 経常利益増減要因

増収効果はあるものの、原材料費や電力費の高騰影響に加え、需要回復に備えた労務費の増加で売上総利益は微増に止まる。販売活動の再開に伴い販売費が増加、営業外では補助金収入の減少や持分法による投資損失を計上



為替レート (期中平均)

	米ドル	ユーロ	シンガポールドル
2022年3月期	112.38 円	129.89 円	83.33 円
2023年3月期	135.47 円	138.04 円	98.62 円

売上： 国内外の需要は回復傾向、着実な需要の取込みで引き続き増収を見込む

利益： 原材料費や電力費など物価高騰の影響は引き続き受けるも、増収効果に加え、更なる原価低減や販売価格など取引条件の見直しにより利益回復を見込む

(単位：百万円)

	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期予想	対前期 増減率
売上高	58,169	63,740	67,000	5.1%
営業利益	980	724	1,000	37.9%
経常利益	1,126	586	1,100	87.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	826	281	800	184.7%

※業績予想にあたっての前提として、為替レートを、  
1米ドル=130円、1ユーロ=140円、1シンガポールドル=98円としております。



## 2023年3月

### 経済産業省「健康経営優良法人 2023」に認定されました

社員とその家族のみなさんが生き生きと安心して生活できる環境づくりを目指し、男性育休の推進、禁煙外来プログラム実施、特定保健指導プログラム（メタボ対策プログラム）実施、等に取り組みました。2022年度に続く認定となりました。



## 2023年4月

### トルコ・シリア地震における支援活動

パートナー企業とのトルコに向けた共同支援物資として、抗生剤の投与に必要な輸液セットと留置針を寄付しました。



人と医療のあいだに…

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。